



東光精機株式会社

横 澤 轉*



本 社 工 場

1. 会 社 概 要

名 称 東光精機株式会社
 英 文 名 TOKO SEIKI Co., LTD.
 本 社 〒566 摂津市千里丘3丁目14番40号
 創 立 大正3年3月
 資 本 金 519百万円
 年 商 19,597百万円(平成5年度)
 従 業 員 654名(平成6年3月31日)
 代 表 者 取締役社長 本田 茂
 事業内容

- コンピュータ応用装置
AI応用変電所運転支援システム装置
ロードサーベイシステム
自動検針システム・各種制御システム装置
視聴覚訓練システム装置
- OA関連のソフトウェア
システム設計・プログラミング
データ入力
- 各種電力量計・水道メータ
- 配電自動化関連機器



*Utata YOKOSAWA
 1930年2月2日生
 1953年大阪大学工学部電気工学科
 (旧制)卒業
 現在、東光精機株式会社、常勤監
 査役、元取締役
 TEL 06-387-1181

- CATV用電源供給器
- 各種配電盤・キュービクル・計装盤
- 空調・防災等各種設備の設計施行
等の製造・販売・修理・点検・保守

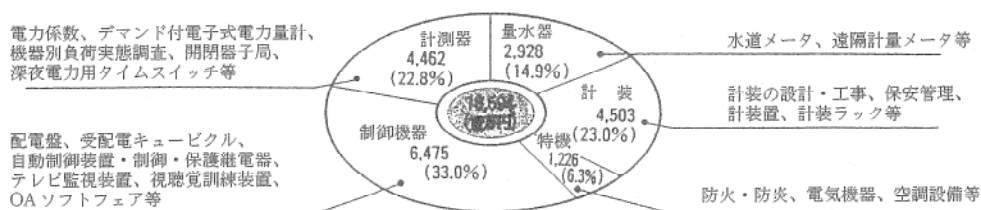
2. 主 な 沿 革

当社は大正3年3月、資本金40万円の合資会社芦田工業所として発足し、電気工事の請負、および米国サンガモ電気会社製電力量計その他電気機械器具の輸入、販売および量水器の製造販売を開始いたしました。大正6年6月に株式会社に変更し、大淀工場を新設して、輸入していた電力量計等の計器の国産化に取り組みました。昭和15年12月に千里丘工場(現本店工場)を新設して、電力量計、一般電気計器部門を大淀工場から移転拡張しました。昭和20年6月、社名を東光精機株式会社と改称し、昭和26年12月に関西電力株式会社の関係会社となりました。昭和34年8月、各種精密金型、治具の製造、販売を開始し、昭和36年6月には配電盤部門を新設して、各種配電盤、キュービクルの製造、販売を始め、さらに昭和41年12月、計装部門を独立させ、発電所、変電所、工場など計測制御装置の設計、製造ならびに保守管理の業務を拡充いたしました。昭和58年5月には、独立していた東光精機商事株式会社を吸収合併して製販一体化を図り、今日に及んでおります。

3. 事 業 内 容

当社は、私達の暮らしに欠かせない水や電気を計測し、そして情報のセキュリティを守る機器やシステムの開発、製造に取り組んでいます。その結果、公益事業体を主な得意先として高品質、高信頼度の製品づくりに務めております。部門別の売上高は次の通りです。

部門別売上高 (平成5年度)



事業部門別に、主な事業内容について説明いたします。

(1) 計測器事業部

大切なエネルギーである電気の流れを確実にしかも精度よく測るための技術の高度化に取り組み、電力量の計測分野では、我が国のパイオニア的な存在として実績を誇ってまいりました。単相・三相・精密・配電盤用等の電力量計をはじめ、時代のニーズに即して電気料金の昼夜別時間帯料金制への移行に伴う時間帯別用電子式電力量計、デジタル計測の可能なコンピューティング電力量計、デマンド付電子式電力量計、配電自動化用開閉器子局、負荷実態調査(ロードサーベイ)システム等を開発してまいりました。さらに、太陽光発電システムで電力会社と需要家間の電気のやりとりを計測する双方向電力量計、電気自動車の普及をめざして電力会社等と協力してエレキスタンドの実用化研究等の開発にも取り組んでおります。

(2) 量水器事業部

80年余にわたる伝統の上に、変化する時代のニーズに対応して各種の製品づくりをすすめてまいりました。家庭用・工業用の各種水道メータの製造・販売を手がけてきましたが、わが国初の「広範囲たて型ウォルトマン式」メータの開発を始め、遠隔検針や自動検針が容易にできる多機能な電子式水道メータ、水道料金先払いのプリペイドカード方式による製品システム、水道・電気・温水・ガス・空調の料金を一括して検針できる集中自動料金計算システム、さらに周辺機器として流量調整器やロードサーベイシステム等の開発を行ってまいりました。

(3) 制御機器事業部

電気エネルギーの管理に欠かせない制御機器やシステムの開発に取り組んでおります。コンピュータを応用した制御所等の運動シュミレー

タや配電盤、受配電キュービクル、中央監視装置、遠隔制御装置、配電自動化用変電所子局、CATV用電源供給器等を開発してまいりましたが、さらにダムや変電所等の施設を集中監視できるダム監視操作卓や遠隔監視制御システムの開発、運転技術者の負担を軽減するとともに電気や情報の品質を高めるAI応用の一次変電所運転支援システムや給電所シミュレータの開発にも取り組んでまいりました。

(4) 計装事業部

火力や原子力発電プラントを構成するさまざまな施設のより安全なセキュリティシステムの構築に携わっております。既存の火力や原子力発電プラントの計測制御装置の保守・管理をはじめ、新しく設置される火力や原子力発電所の電気計測制御システムや制御盤の開発、電気計装工事等にも取り組んでいます。また、例えば光センサー・画像処理技術を応用した防災監視システム、コンピュータ解析によるタービン発電機の軸振動解析装置等、新しい技術を応用した研究開発にも力を入れております。一方、ガス関係の計装工事や熱供給関係の計装工事等発電プラント以外の分野でも積極的に取り組んでいます。

(5) 特機事業部

当社が長年にわたって培ってきた総合力を生かし、お客様が必要とされる環境・防災にかかわる設備機器や電気関係の周辺機器等を、関係の一流メーカーと代理店または特約店契約を締結して、お客さまのニーズに応じて販売しております。

4. おわりに

当社は、発足当初、わが国では大半を欧米からの輸入に頼っていた電力量計や量水器を、国産メーカーとしていち早く自社開発に踏み切り、

生産と技術

先駆者的な役割を果たしてきました。こうした進取の気風を受け継ぎ、幾多の試練を乗り越えて、精密金型や配電盤、計装部門へ進出し、さらにはエレクトロニクス時代に対応した計測制御分野や情報通信分野などにも事業のフレームを広げてきました。この間、常に高品質・高信頼度の製品開発に力を注ぎ市場の多様なニーズにお応えしてまいりました。

21世紀が間近となり1997年には当社は株式会社設立80周年を迎えるまでになりました。これからも皆さまのご要望にお応えして、新製品の開発、製品の品質向上に取り組み、徹底したアフターサービスを展開し少しでも社会のお役に立ちたいと願っております。

以 上

